

研究テーマ：高速ネットワーク回線を用いた同期型分散教育に関する研究（1/2） （プロジェクト番号JGN-G12007）

研究機関： 九州工業大学 情報工学部

研究の概要：

- 将来一般的に普及するであろう高速のネットワークを用いた効果的な遠隔講義を行うための問題点を洗い出し、それを解決する方法を探る。
- 特に同期型分散教育を対象とする。即ち、地理的に離れた複数の講義室において同時に、双方向講義を行う形態を対象とする。

研究の目的：

学習者は講師のいる部屋を含め地理的に分散している。
講師は目の前の学習者のみならず、双方向にコミュニケーションの取れる遠隔の学習者に対しても配慮をしなければならない。
本研究では講師にかかる負荷、講義方法への影響、異なる環境にある学習者への教育的影響などを評価する。

研究テーマ：高速ネットワーク回線を用いた同期型分散教育に関する研究（2/2） （プロジェクト番号JGN- G12007）

研究機関： 九州工業大学 情報工学部

研究開発状況：

本研究は小倉サテライトキャンパスの整備、公開講座の促進、遠隔講義システムに関する研究といった3つの側面から、教育と研究を同時に実施する特色を持つ。本研究を推進することで、小倉サテライトキャンパスのさらなる環境整備が達成でき、同キャンパスの積極的な利用を促す効果が期待されている。さらに、IPを使ったリアルタイム遠隔講義システムを公開講座で使用するので、講師の物理的な移動を最小限に留めることができ、新しい技術を使った本格的な実証実験を行いつつある。

今後の予定：

リアルタイム講義システムに関する研究では、システムの構築はもちろんのこと、実際の教育手法による影響の調査も行う予定である。この結果は、他の3キャンパス間におけるリアルタイム遠隔講義に対しても反映できる。また、使用するネットワークは、現在使用しているJapan Gigabit Network に加えて北九州地域情報ネットワークや福岡県ギガビットネットワークといった地域ネットワークも利用する予定である。